

人のうごき

平成23年2月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

遠藤 牡丹^{ぼたん}くん (鉄雄・千亜紀) 栄町
井上 龍騎^{りゅうき}くん (貴郁・真奈美) 栄町

ごけっこん

加藤 武^{たけ}さん 大河原 春奈^{はるな}さん 南3の4
廣谷 将大^{まさひろ}さん 南部 奏恵^{そうえ}さん 幸町

おくやみ

大中 一男^{いちお}さん 79歳 南2の1
三宅 重雄^{しげお}さん 80歳 南2の1
浜田 慶子^{けいこ}さん 74歳 北町
神川 秀明^{ひであき}さん 84歳 栄町
川島 亀吉^{かめきち}さん 92歳 栄町
由田 トシ^{とし}さん 79歳 栄町
堤 武義^{たけよし}さん 82歳 栄町
佐藤 豊作^{ゆんさく}さん 78歳 焼尻
佐々木 昭一^{あきら}さん 84歳 焼尻



羽幌町商工会「全国展開プロジェクト」商品開発部長

重原 伸昭^{しんしょう}さん (43才・南1の3)

『羽イサバヤ食堂』の名前で、
開発した特産品を
本格的に全国に売り出します。

「イサバヤ食堂ってネーミングおもしろいでしょ。魚屋のことなんだけどね。オロロン鳥をモチーフにしたキャラクターのシェフがいるって設定の架空のお店を考えたのさ」と語るのは、商工会の地域資源全国展開プロジェクト商品開発部長の重原さん。

一昨年から町内の水産加工業者3社の仲間と商品開発に取り組み、このほど、甘エビ沖漬、甘エビ釜あげ、洋風いかめし、糠にしんマリネなど8品目の商品を完成させました。先月、東京で大きなグルメイベントに出店し、「予想以上に反響があつてすごい手ごたえだった。春から本格的に

町の特産品として売り出します。ホームページはもうできてるし」と笑顔。町観光協会の理事で、「味まつり」を衣替した「羽幌甘エビまつり」の委員長でもある重原さん「補助金があつてやらされてるじゃなくみんなが協力して、自分たちで企画して、これからの町を盛り上げていきたいんだよね。自分たちにできること、もつともつとあるべやつてね」と元氣いっぱいです。

また、趣味の剣道は5段の腕前。町の武道館で週2日子ども達に剣道の指導をしています。「子ども達の将来のためにも、本気でやっていきたい」と熱く語ってくれました。

編集後記

ニュージージラランド南部で発生した大規模な地震や岐阜県での地震など、先月から頻りに地震のニュースを目にします。わたしたちの地域でも平成16年に起きた地震がまだ記憶に新しいところですが、いつ起こるか分からない自然災害には常に備えておかなければなりませんね。

羽幌町では、災害時の危険区域などを地図に示した「ハザードマップ」をこのほど作成しました。お手元に届きましたら、ぜひご家族でご覧いただくとともに、連絡先や避難所等の確認などをお願いいたします。また、今月末には説明会も開催しますので、多数の参加をお願いします。詳しくは本誌2、3ページで。(Y)

人口と世帯数(2月末)

人口	8,181人	(- 9)
男	3,891人	(- 2)
女	4,290人	(- 7)
世帯数	3,911世帯	(+ 5)

()は前月比

